

相良高校部活動ガイドライン

1 部活動における本校の教育目標の位置付け

教育目標 (部活動)	自分の可能性を伸ばすためにたゆまぬ努力を続け、たくましい心身を備える。集団行動を共にする他者とのかかわりを通して、自主的な生活態度を養い、健全な心身・豊かな情操・責任感・規範意識を育成し、社会性を育む。また、活動を通して、自己肯定感や学校への帰属意識を高め、豊かな人間性の育成を目指す。
目標具現化の柱	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の活動への動機づけが可能となる課題や目標を設定し、意欲的姿勢をもって活動に臨む。 ○規律ある生活を身につけるとともに適切な人間関係を作る。 ○周囲への関心や気づく能力を高めさせ、自主的行動ができるようにする。 ○外部指導者とも連携し、きめ細かな支援を行い、生徒の主体性や行動力を培う。 ○生徒の人権を尊重し、相互の信頼関係をもとにした指導に取り組む。 ○「立ち居振る舞い」を重視し、マナーの向上を図る。

2 部活動顧問会

教頭、生徒課長、各部活動顧問

3 設置部活動

運 動 部	野球、サッカー、女子バレー、男子バスケ、女子バスケ、陸上男子テニス、女子テニス、卓球、剣道、弓道
文 化 部	吹奏楽、科学、商業、美術、茶華道、福祉家庭

4 部活動の取組内容と成果目標

区 分	目 標
活動内容と具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的で効率的な練習を行うように努める。 ○日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的な実践力を養う。 ○平日は午後7時完全下校を行い、家庭学習習慣の確立に努める。 ○週休日の活動時間は4時間程度とする。 ○年間100日程度の休養日を設けるように努める。 ○各部活動計画の保護者への通知を徹底する。
成 果 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○「部活動等各種活動に熱心に取り組んだ」生徒80%以上。 ○自己肯定できる(自尊感情が持てる)生徒70%以上 ○挨拶、服装、言葉遣い、時間を意識して生活する生徒90%以上

※運用上の留意点

試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合や、週休日に練習試合を計画している場合等は柔軟な対応を可能とする。この時、月間活動計画に記載されてなく、変更を余儀なくする場合には、あらかじめ所属長の了解を得るとともに、適切に保護者や生徒等に示すこととする。

5 部活動の活動計画表等の作成及び公表

各部は年間活動計画・月間活動計画を作成し、毎月末、生徒に配布する。